

社会科学研究部 冬季巡検（武蔵野巡検）

○行程表

ひばりヶ丘駅 → 平林寺 → 野火止用水 → ひばりヶ丘駅 → 東大和駅 → こもれびの足湯
→ 玉川上水（上水小橋） → 玉川上水駅 → 上北台駅 → 豊鹿嶋神社 → 村山貯水池 →
狭山不動尊 → 西武球場前駅

○見学地

- ・平林寺



臨済宗の禅寺。大河内松平家の菩提寺としても知られ、「知恵伊豆」こと松平伊豆守信綱の霊廟も存在している。また、境内林は雑木林として日本で唯一国の天然記念物に指定されており、境内散策は趣がある。他にも境内には増田長盛や前田卓の墓が存在している。

- ・野火止用水



玉川上水から分水され、最終的には新河岸川へと注いでいる用水路。平林寺の境内を流れており、「平林寺堀」という名前が残っている。野火止用水が平林寺の縁に沿って流れている様子を確認した。

- ・こもれびの足湯



玉川上水沿いに存在している足湯施設。横にある焼却施設のごみ焼却時の余熱を利用して地下水を温めている。無料で利用できるため、玉川上水散策の途中の休憩に最適。

・玉川上水（上水小橋）



多摩川から羽村取水堰で取水して、四谷まで流れている用水路。上水小橋は玉川上水で唯一水面まで降りられる場所である。ここでは玉川上水の側面の地層も近くで確認できるため、社会科研究部としては貴重な経験をすることができた。

・豊鹿嶋神社



本殿は文正元年（1466年）の造営で、都内にある唯一の室町時代の神社建築である。社伝や御朱印を見ると、創建は慶雲4年（707年）となっている。御朱印を受けるには、境内にある宮司さんの番号に電話すると、宮司さんが4～5分で駆けつけてくれる。

・村山貯水池（多摩湖）



東京の人口増加に対応した水源確保のため、狭山丘陵の谷を活かして昭和2年（1927年）に完成したダム湖で、アースダム（主に土を利用して形成している）。多摩川の水を羽村取水堰で取り入れ、村山貯水池に導いて貯水している。周囲にはサイクリングロードなども整備されている。

・狭山不動尊



西武ライオンズの選手が必勝祈願をする寺として知られている。様々な地域から移築された建物が多く、勅額門は徳川家と縁が深い芝増上寺からの移築となっている。

・番外編



帰りの西武球場前駅に西武鉄道の新型車両が止まっていた。鉄道好きな部員にとっては、一番見て良かったものだったかもしれない。